

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 342

事業名	市医師会歯科医師会福祉医療助成負担金	予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部 保険課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3003		項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	福祉医療費・4目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_		
	まちづくりの目標	延ばせ健康寿命_【健康】		
	施策目標	健康増進や予防などに関する意識を高め、信頼性の高い医療・救急医療が受けられる仕組みを整える		
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 福祉医療費助成対象者(ただし、市民誰もが対象者となる可能性がある) 対象人数(人) 13,418	
	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	福祉医療費助成事業を円滑かつ適切に実施するため。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 福祉医療費助成事業を実施するためには、各医療機関の理解と協力、また市医師会歯科医師会から各医療機関・医師への広報・指導が不可欠であり、そのための協力的負担金として支出。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 県単独事業(一部市単独含む)として福祉医療費助成事業を実施するにあたり、県は県医師会と、市町は市郡医師会と、当該事業の円滑・適切な実施に向けて、周知・広報及び各医療機関に対する理解・協力に関する協議がなされ、協力的負担金を支払うこととなり、現在に至っていると推測される。 県も県医師会に対し福祉医療の周知・広報等スムーズな事業実施のための助成金を現在も支出しているとのこと。 淡路市 合併前からH20年度までは本市と同様の算出根拠であったが、補助金等行革によりH21年度から10%カットされ9円となっている。 洲本市 本市と同様。	
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ( )	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 元々、郡内4町がそれぞれ現在の算出方法により負担金を郡町村会に支出し、郡町村会から郡医師会・歯科医師会へ支出していたもので、そのままその内容が市に引き継がれている。		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	指標単位				
	指標説明 (指標算出 方法等)					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	目標値					
	実績値					
	達成度 (%)	-	-	-	-	-
目標値設定 の考え方						
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	直接事業費 (千円)	6,272	6,272	6,272	6,274	6,272
	市医師会歯科医師会福祉医療助成負担金	6,272	6,272	6,272	6,274	6,272
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	6,272	6,272	6,272	6,274	6,272
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4
	事業量1(事業に要した日数)					
事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	6,272	6,272	6,272	6,274	6,272	
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	467.4	467.4	467.4	467.6	467.4	
経費に関する 補足説明	負担金 = 10円 × 52,283人 × 12月 (市民1人当たり月10円 × 国勢調査人口 × 12ヶ月) 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。					

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
達成度	目標達成度	%	-	-	-	-	-	
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 達成度を図る指標は特にないが、目的である福祉医療費助成事業はスムーズに実施されている。						自己評価 (5点評価)	5
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 当該負担金は、間接的には市民(福祉医療費助成対象者)の福祉の向上に大きく貢献していると言えるが、直接的には市と市医師会・市歯科医師会との協力体制(当該事業以外の事案も含め)の問題であり、有効性、効率性、必要性を評価・判断することは極めて困難である。						自己評価 (5点評価)	5
	事業単価	円	467.4	467.4	467.4	467.6	467.4	
効率性	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 有効性と同様。						自己評価 (5点評価)	5
	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低				自己評価 (5点評価)
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 有効性と同様。 福祉医療費助成事業は引き続き今後も実施される見込みであるが、当該負担金を今後も引き続き同様の算出方法で支出すべきかどうかは検討する余地がある。ただし、長年同様の算出方法により支出してきた経緯もあり、実質的には人口減により5年ごとには減額となっている。						自己評価 (5点評価)	4
	総合評価	<p>自己評価をふまえた現状分析</p> <p>福祉医療費助成事業は引き続き今後も実施される見込みであるが、当該負担金を今後も引き続き同様の算出方法で支出すべきかどうかは検討する余地がある。</p> <p>ただ、市医師会・歯科医師会には、当該事業だけでなく、休日応急診療所運営や小児救急をはじめ医療・健康等各種事業において理解・協力をいただいていること、また、各種事業における協力体制が淡路市とは異なることなどから、当該負担金のみでの必要性や金額の多寡を取り上げて直ちに減額を交渉することは極めて困難であると考え。 (特に現在、県病の小児科等の医師減少により小児・成人の救急医療全体について淡路医師会と協議中。)</p> <p>しかしながら、淡路市においてはH21年度から10%削減を実施していることもあり、今後、洲本市とも当該負担金の取扱いについて協議するとともに、本市としての方針・方向性を検討する。</p>						<p>評価グラフ</p>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	現状維持としているが、今後、洲本市とも協議し、本市としての方針・方向性を検討する。	同左。国勢調査人口をもとに負担金を算出するため、減額になる見込み。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<b>仮に</b> 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 市は、市医師会・歯科医師会に医療・健康の各種事業で協力を得ているため、廃止することは困難と思われる。	